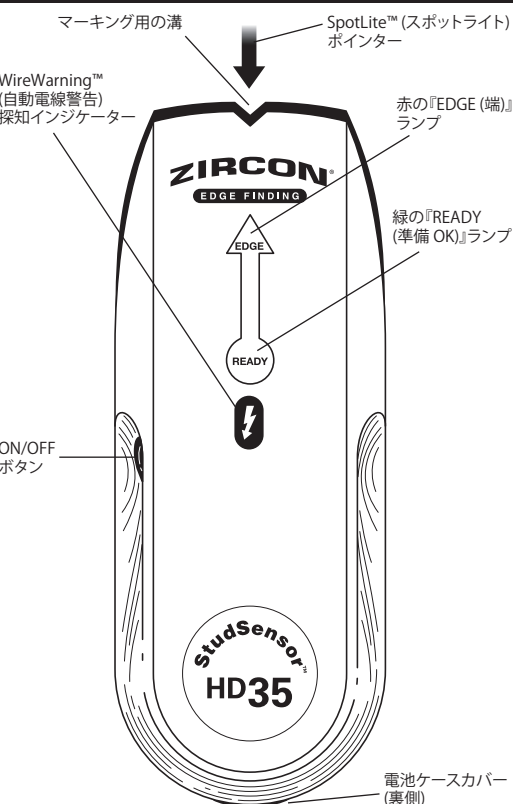


# スタッドセンサー™ HD35 梁・間柱探知器



スタッドセンサー™ HD35 は、壁裏に隠れた木製と金属製の梁や間柱を 19 mm の深さまで素早く簡単に探知します。本製品は丈夫な対衝性プラスチックを使い、さらに特許取得済みの「つまみグリップ」デザインと SpotLite™ (スポットライト) ポインターが搭載されています。

WireWarning™ (自動電線警告) 探知機能は、通電中の AC (交流) 電線を自動的に探知してお知らせします。電圧が探知されると、WireWarning™ (自動電線警告) 探知インジケータが点灯します。

## 1. 電池の取り付け・交換

本体裏側下方の電池ケースカバーのつまみを押して、カバーを開けて下さい。プラス (+) とマイナス (-) の端末をケース内に印刷された図に合わせて、新しい 9 ボルトの角電池を挿入して下さい。電池をしっかり押し込み、カバーを閉めます。これらの製品が最適な状態で作動するように、新しいアルカリ乾電池をご使用下さい。

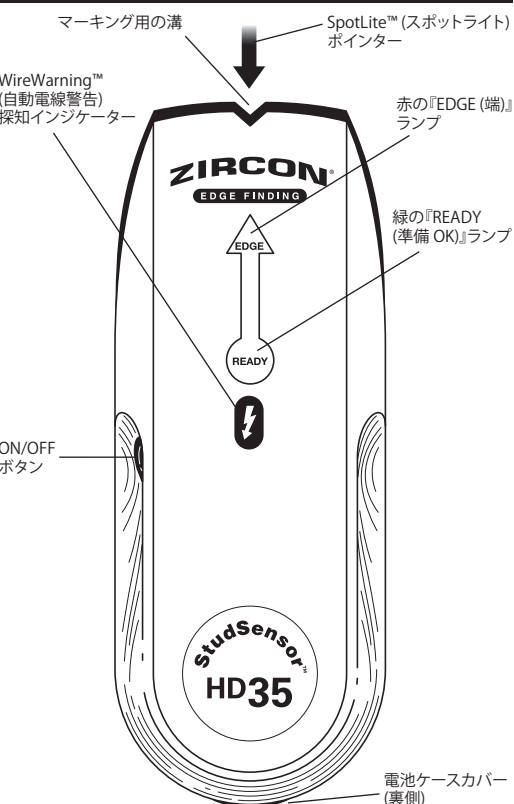
製品の取扱には万全を期しておりますが、万が一問題が生じた場合は、まず電池を新品のものと交換して下さい。それでも問題が解決しない時には、最寄の Zircon 代理店、または E メール (info@zircon.com) でカスタマーサービスまでお問い合わせ下さい。

## 2. 操作上のヒント

最適な探知結果を得るため下記のヒントをご覧ください。



# スタッドセンサー™ HD35 梁・間柱探知器



スタッドセンサー™ HD35 は、壁裏に隠れた木製と金属製の梁や間柱を 19 mm の深さまで素早く簡単に探知します。本製品は丈夫な対衝性プラスチックを使い、さらに特許取得済みの「つまみグリップ」デザインと SpotLite™ (スポットライト) ポインターが搭載されています。

WireWarning™ (自動電線警告) 探知機能は、通電中の AC (交流) 電線を自動的に探知してお知らせします。電圧が探知されると、WireWarning™ (自動電線警告) 探知インジケータが点灯します。

## 1. 電池の取り付け・交換

本体裏側下方の電池ケースカバーのつまみを押して、カバーを開けて下さい。プラス (+) とマイナス (-) の端末をケース内に印刷された図に合わせて、新しい 9 ボルトの角電池を挿入して下さい。電池をしっかり押し込み、カバーを閉めます。これらの製品が最適な状態で作動するように、新しいアルカリ乾電池をご使用下さい。

製品の取扱には万全を期しておりますが、万が一問題が生じた場合は、まず電池を新品のものと交換して下さい。それでも問題が解決しない時には、最寄の Zircon 代理店、または E メール (info@zircon.com) でカスタマーサービスまでお問い合わせ下さい。

## 2. 操作上のヒント

最適な探知結果を得るため下記のヒントをご覧ください。



• 本体を真っ直ぐに持ち、間柱に対して平行になるようにします。この時回転したりしないよう注意して下さい。ON/OFF ボタンを押し、使用中は手を離さずに押したままの状態での探知を行って下さい。

• 壁にピッタリと付け、探知表面全体をゆっくりとスライドさせて探知して下さい。この時、探知表面上で揺らしたり、傾けたり、あるいは強く押付けたりしないよう注意して下さい。

• もう片方の手や身体他の部分が探知表面に触れないようにして下さい。

• 電線や配管の深さによって、これらの物体も梁や間柱と同じように探知されることがあります。このような物体を含んでいる可能性がある壁や床、そして天井への釘打ち、切断、あるいは穴開けをする際には常に注意して下さい。

• 予期しない事態を防ぐため、間柱や梁は通常約 40~60 cm の間隔で設置され、その幅は 38 mm 程であることを覚えておいて下さい。これよりも近くに隣接しているものや異なる幅のものは、間柱、梁、防火帯以外のものである可能性があります。

もし探知結果に一貫性がない場合、湿度、壁内の空洞や石膏ボード壁内に溜まった水分、または最近塗られた塗料や壁紙がまだ完全に乾いていないことなどが理由に挙げられます。湿気はいつも目に見えるというわけではありません。条件により、製品のセンサー機能に影響していることがあります。壁が完全に乾燥するまで数日間待って下さい。

## 異なる壁面での作業

スタッドセンサー™ HD35は乾燥した室内の壁のみで使用して下さい。

• 本体を真っ直ぐに持ち、間柱に対して平行になるようにします。この時回転したりしないよう注意して下さい。ON/OFF ボタンを押し、使用中は手を離さずに押したままの状態での探知を行って下さい。

• 壁にピッタリと付け、探知表面全体をゆっくりとスライドさせて探知して下さい。この時、探知表面上で揺らしたり、傾けたり、あるいは強く押付けたりしないよう注意して下さい。

• もう片方の手や身体他の部分が探知表面に触れないようにして下さい。

• 電線や配管の深さによって、これらの物体も梁や間柱と同じように探知されることがあります。このような物体を含んでいる可能性がある壁や床、そして天井への釘打ち、切断、あるいは穴開けをする際には常に注意して下さい。

• 予期しない事態を防ぐため、間柱や梁は通常約 40~60 cm の間隔で設置され、その幅は 38 mm 程であることを覚えておいて下さい。これよりも近くに隣接しているものや異なる幅のものは、間柱、梁、防火帯以外のものである可能性があります。

もし探知結果に一貫性がない場合、湿度、壁内の空洞や石膏ボード壁内に溜まった水分、または最近塗られた塗料や壁紙がまだ完全に乾いていないことなどが理由に挙げられます。湿気はいつも目に見えるというわけではありません。条件により、製品のセンサー機能に影響していることがあります。壁が完全に乾燥するまで数日間待って下さい。

## 異なる壁面での作業

スタッドセンサー™ HD35は乾燥した室内の壁のみで使用して下さい。

注: センサーの機能する深さおよび精度は、湿気、素材の成分、壁の生地、および塗料によって影響を受け変動することがあります。

塗装直後の壁: 塗装後乾くのに一週間、またはそれ以上かかることもあります。

壁紙: スタッドセンサー™ HD35 は、素材が金属箔や金属繊維だったり、塗ったばかりでまだ乾いていない状態にある壁を除いては、通常壁紙や布で覆われている壁上でも問題なく探知します。

ラスとシックい堀: シックいにはその厚み (密度) に一貫性がないため、本製品ではこのような素材を通しての探知はできません。

スタッドセンサー™ HD35 は、陶磁器製 (セラミック) タイルやカーペットまたはパッドを通して木製の梁・間柱を探知することはできません。

**⚠ 注意** 完全に探知器だけを頼らず、壁の図面、壁表面に見える配管や電線の挿入箇所、および通常の間柱の設置間隔など、他の情報も考慮に入れ作業を行って下さい

電線の近くで作業する時は常に電源を切って下さい。

## 3. 梁・間柱の探知

常に本体を壁にピッタリと付けて探知を行って下さい。ON/OFF ボタンを押し、放さずに押し続けます。ボタンを押した時点で本体の自動調整が行われます。調整は瞬時ですが、この短時間内に SpotLite™ (スポットライト) ポインターと赤の『EDGE (端)』ランプが一度点灯し、ピーッという短い音が鳴り、さらに緑の『READY (準備 OK)』ランプが点灯します。調整が完全に終了するまで決して本体を動かさないで下さい。調整が完了したら探知を開始します。

注: センサーの機能する深さおよび精度は、湿気、素材の成分、壁の生地、および塗料によって影響を受け変動することがあります。

塗装直後の壁: 塗装後乾くのに一週間、またはそれ以上かかることもあります。

壁紙: スタッドセンサー™ HD35 は、素材が金属箔や金属繊維だったり、塗ったばかりでまだ乾いていない状態にある壁を除いては、通常壁紙や布で覆われている壁上でも問題なく探知します。

ラスとシックい堀: シックいにはその厚み (密度) に一貫性がないため、本製品ではこのような素材を通しての探知はできません。

スタッドセンサー™ HD35 は、陶磁器製 (セラミック) タイルやカーペットまたはパッドを通して木製の梁・間柱を探知することはできません。

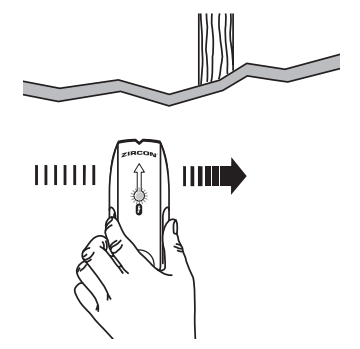
**⚠ 注意** 完全に探知器だけを頼らず、壁の図面、壁表面に見える配管や電線の挿入箇所、および通常の間柱の設置間隔など、他の情報も考慮に入れ作業を行って下さい

電線の近くで作業する時は常に電源を切って下さい。

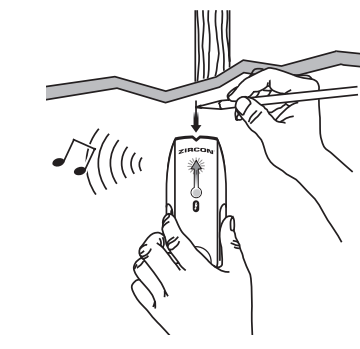
## 3. 梁・間柱の探知

常に本体を壁にピッタリと付けて探知を行って下さい。ON/OFF ボタンを押し、放さずに押し続けます。ボタンを押した時点で本体の自動調整が行われます。調整は瞬時ですが、この短時間内に SpotLite™ (スポットライト) ポインターと赤の『EDGE (端)』ランプが一度点灯し、ピーッという短い音が鳴り、さらに緑の『READY (準備 OK)』ランプが点灯します。調整が完全に終了するまで決して本体を動かさないで下さい。調整が完了したら探知を開始します。

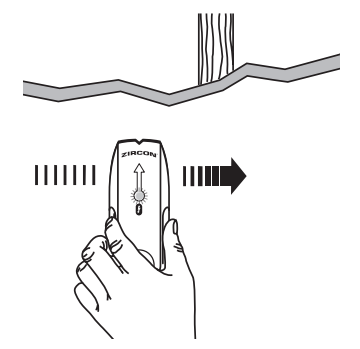
ON/OFF ボタンを押したまま、本体を壁上でゆっくりと水平に左右どちらかにスライドさせます。間柱に近付くにつれ、矢印型の『EDGE (端)』ランプが下から上へ向かって点灯し始めます。



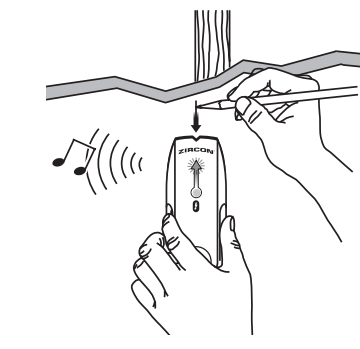
一番上の赤ランプが点灯し、SpotLite™ (スポットライト) ポインターが照射され、連続音が鳴ると、梁・間柱の『端』を探知したことを意味します。マーキング用の溝を使ってこのスポットをマークして下さい。



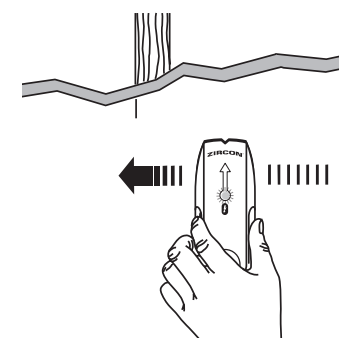
ON/OFF ボタンを押したまま、本体を壁上でゆっくりと水平に左右どちらかにスライドさせます。間柱に近付くにつれ、矢印型の『EDGE (端)』ランプが下から上へ向かって点灯し始めます。



一番上の赤ランプが点灯し、SpotLite™ (スポットライト) ポインターが照射され、連続音が鳴ると、梁・間柱の『端』を探知したことを意味します。マーキング用の溝を使ってこのスポットをマークして下さい。



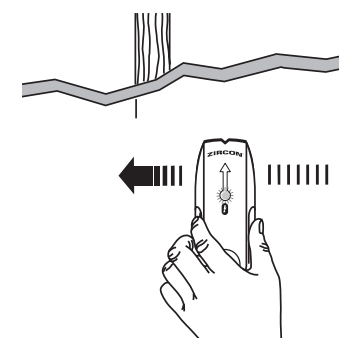
印を付けた地点を通過してからも ON/OFF ボタンから手を離さず、赤ランプが全て消えるまでそのまま同じ方向にスライドし続けます。赤ランプが消えたら、ボタンを押したままの状態です。今度は本体を逆の方向にスライドさせて間柱のもう一端を探知します。



先同様、もう一端を探知した地点で二つ目の印を付けます。間柱の中心はこの二点の真ん中です。



印を付けた地点を通過してからも ON/OFF ボタンから手を離さず、赤ランプが全て消えるまでそのまま同じ方向にスライドし続けます。赤ランプが消えたら、ボタンを押したままの状態です。今度は本体を逆の方向にスライドさせて間柱のもう一端を探知します。

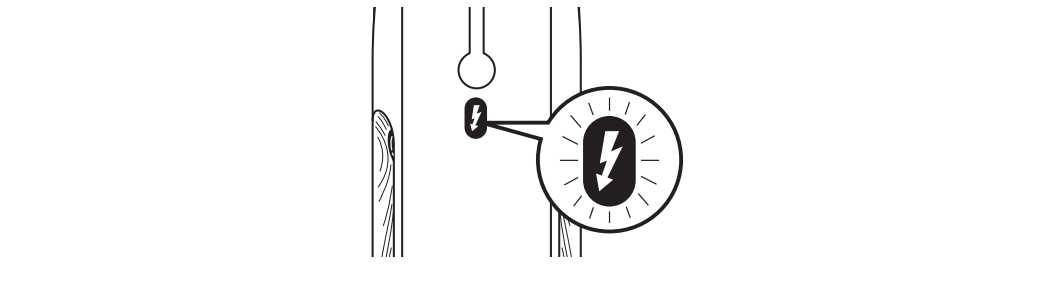


先同様、もう一端を探知した地点で二つ目の印を付けます。間柱の中心はこの二点の真ん中です。



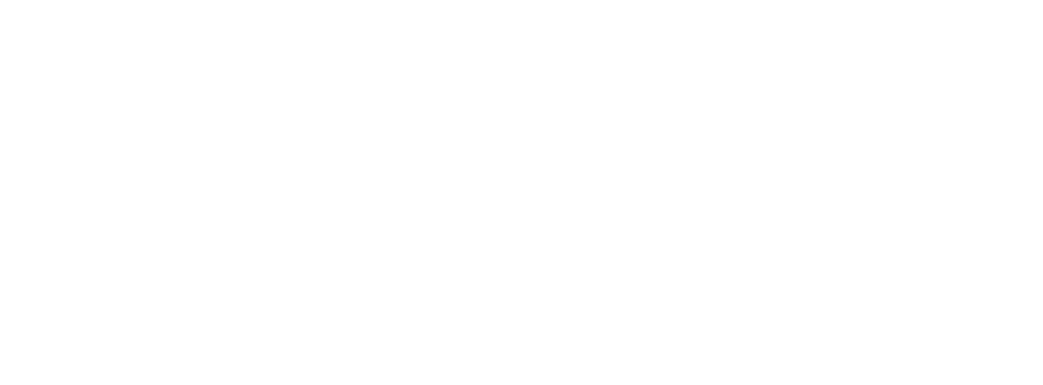
#### 4. WIREWARNING™ (自動電線警告) 探知機能 (f)

WireWarning™ (自動電線警告) 探知機能は常時作動しています。通電中の AC (交流) 電圧を感知すると、WireWarning™ (自動電線警告) 探知インジケータ− (f) が点灯します。探知が通電線上で開始された場合はインジケータ−が継続的に点滅します。このような状況下や、通電線が存在する場合は充分注意をして下さい。



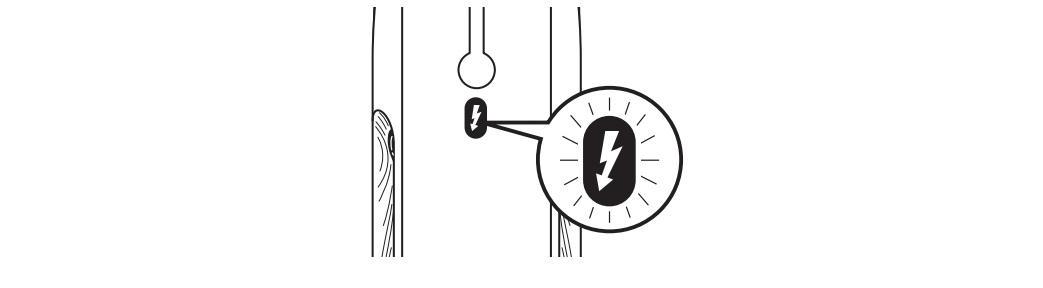
**⚠ 注意** 壁内に湿気がある場合、探知表面から電線が 5 cm 以上離れている場合、または電線がプラスチック製導管、合板壁の裏側、金属製の壁面カバーなどの中にある場合、電場探知機器が通電中の電線を探知できないことがあります。

**⚠ 警告** 憶測だけで壁内に通電中の電線がない、と判断しないで下さい。壁内に通電中の電線がある場合は、危険な行動を取らないで下さい。穴あけを行う前に、常に電源、ガス、および水道をオフにして下さい。これらの指示に従わない場合、感電、火災、および/もしくは、重傷または物的損害が生じることがあります。



#### 4. WIREWARNING™ (自動電線警告) 探知機能 (f)

WireWarning™ (自動電線警告) 探知機能は常時作動しています。通電中の AC (交流) 電圧を感知すると、WireWarning™ (自動電線警告) 探知インジケータ− (f) が点灯します。探知が通電線上で開始された場合はインジケータ−が継続的に点滅します。このような状況下や、通電線が存在する場合は充分注意をして下さい。



**⚠ 注意** 壁内に湿気がある場合、探知表面から電線が 5 cm 以上離れている場合、または電線がプラスチック製導管、合板壁の裏側、金属製の壁面カバーなどの中にある場合、電場探知機器が通電中の電線を探知できないことがあります。

**⚠ 警告** 憶測だけで壁内に通電中の電線がない、と判断しないで下さい。壁内に通電中の電線がある場合は、危険な行動を取らないで下さい。穴あけを行う前に、常に電源、ガス、および水道をオフにして下さい。これらの指示に従わない場合、感電、火災、および/もしくは、重傷または物的損害が生じることがあります。

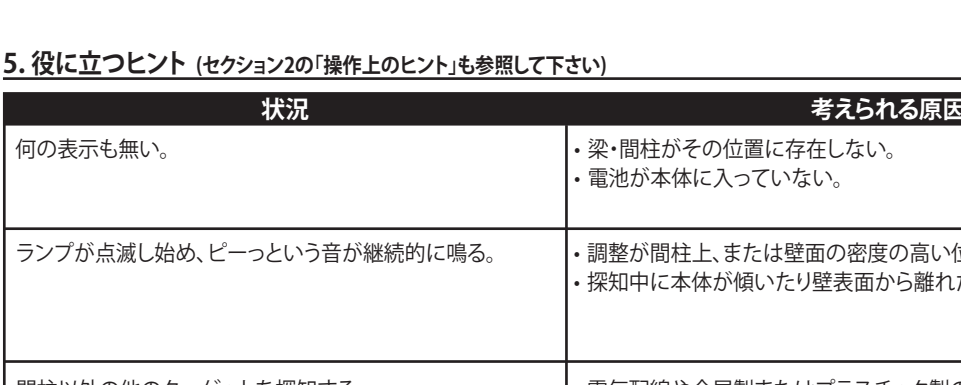


#### 5. 役に立つヒント (セクション2の「操作上のヒント」も参照して下さい)

状況	考えられる原因	解決方法
何の表示も無い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>梁・間柱がその位置に存在しない。</li> <li>電池が本体に入っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体を 12~13 cm ほど左右どちらかに動かし、再度探知を行なって下さい。</li> <li>使用前に本体に 9 ボルトの角電池を挿入して下さい。この時期限をチェックし、新しい電池であることを確認して下さい。</li> </ul>
ランプが点滅し始め、ピーっという音が継続的に鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整が間柱上、または壁面の密度の高い位置で行われた。</li> <li>探知中に本体が傾いたり壁表面から離れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度本体から手を離して電源を切り、7~8 cm ほど左右どちらかに動かし、ON/OFF ボタンを再度押して探知を開始して下さい。</li> <li>表面の粗い壁面では、薄めの段ボール紙などを置き、その上から探知して本体が滑らかにスライドするようにして下さい。</li> </ul>
間柱以外の他のターゲットを探知する。存在すると思われる以外のターゲットを探知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気配線や金属製またはプラスチック製の配管が壁のすぐ裏側かその近くにある可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の間柱が両側に 30、40、または 60 cm 間隔にあるかどうか、あるいは同じ間柱が最初の探知範囲のすぐ上またはすぐ下のいくつかの場所にあるかどうかをチェックして下さい。</li> <li>これらの物質が存在する可能性がある場所で壁、床、天井への釘打ち、切断、または穴開け作業をする時は注意をして行って下さい。</li> </ul>

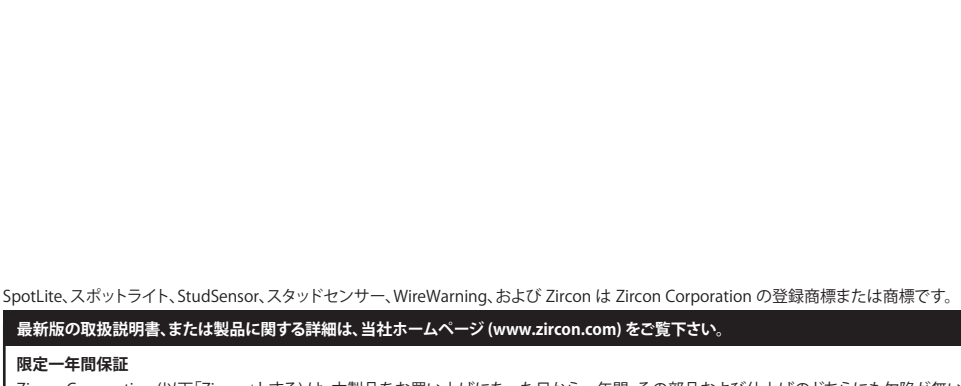
SpotLite、スポットライト、StudSensor、スタッドセンサー、WireWarning、および Zircon は Zircon Corporation の登録商標または商標です。






<p>最新版の取扱説明書、または製品に関する詳細は、当社ホームページ (www.zircon.com) をご覧下さい。</p>		
<p><b>限定一年間保証</b></p> <p>Zircon Corporation (以下「Zircon」とする) は、本製品をお買い上げになった日から一年間、その部品および仕上げのどちらにも欠陥が無いことを保証します。製品の取扱には万全を期しておりますが、万が一製品購入後一年以内に欠陥が確認された製品は、購入日を証明する書類 (日付け付きのレシート、または領収書) と共に、製品をお買い上げになった代理店・店舗までご持参下さい。代理店の判断により代替させていただきます。この保証は、電子回路および製品本来のケースに限定されるもので、誤用、不適当な使用、不注意などによる損傷は特に除外されます。この保証は、明示または黙示に関わらずその他全ての保証の代わりとなるもので、その性質に関わらずその他のいかなる表現や主張も、Zircon を拘束したり義務づけることはないものとします。本製品に適用できる黙示の保証がある場合は全て、購入から一年間以内に限定されるものとします。</p> <p>本製品の所有、使用、または誤作動によって生じる特別損害賠償、付随的損倍賠償、あるいは間接的損害賠償については、いかなる場合にも Zircon が責任を負うことはないものとします。</p>	<p><b>カスタマーサービス</b></p> <p>製品に関する詳しい情報やお問い合わせは、お手数ですが最寄の代理店、または下記の方法で直接 Zircon Corporation 本社までご連絡下さい。</p> <p>ホームページ: www.zircon.com Eメール: info@zircon.com TEL: +1 (408) 963-4550 FAX: +1 (408) 963-4597</p>	
 ZirconCorporation  ZirconTV  ZirconTools   ZirconToolPro  ZirconTools	<p>© 2017 Zircon Corporation • P/N 68810 • Rev A 01/17</p>	



#### 5. 役に立つヒント (セクション2の「操作上のヒント」も参照して下さい)

状況	考えられる原因	解決方法
何の表示も無い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>梁・間柱がその位置に存在しない。</li> <li>電池が本体に入っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体を 12~13 cm ほど左右どちらかに動かし、再度探知を行なって下さい。</li> <li>使用前に本体に 9 ボルトの角電池を挿入して下さい。この時期限をチェックし、新しい電池であることを確認して下さい。</li> </ul>
ランプが点滅し始め、ピーっという音が継続的に鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整が間柱上、または壁面の密度の高い位置で行われた。</li> <li>探知中に本体が傾いたり壁表面から離れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度本体から手を離して電源を切り、7~8 cm ほど左右どちらかに動かし、ON/OFF ボタンを再度押して探知を開始して下さい。</li> <li>表面の粗い壁面では、薄めの段ボール紙などを置き、その上から探知して本体が滑らかにスライドするようにして下さい。</li> </ul>
間柱以外の他のターゲットを探知する。存在すると思われる以外のターゲットを探知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気配線や金属製またはプラスチック製の配管が壁のすぐ裏側かその近くにある可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の間柱が両側に 30、40、または 60 cm 間隔にあるかどうか、あるいは同じ間柱が最初の探知範囲のすぐ上またはすぐ下のいくつかの場所にあるかどうかをチェックして下さい。</li> <li>これらの物質が存在する可能性がある場所で壁、床、天井への釘打ち、切断、または穴開け作業をする時は注意をして行って下さい。</li> </ul>



<p>最新版の取扱説明書、または製品に関する詳細は、当社ホームページ (www.zircon.com) をご覧下さい。</p>		
<p><b>限定一年間保証</b></p> <p>Zircon Corporation (以下「Zircon」とする) は、本製品をお買い上げになった日から一年間、その部品および仕上げのどちらにも欠陥が無いことを保証します。製品の取扱には万全を期しておりますが、万が一製品購入後一年以内に欠陥が確認された製品は、購入日を証明する書類 (日付け付きのレシート、または領収書) と共に、製品をお買い上げになった代理店・店舗までご持参下さい。代理店の判断により代替させていただきます。この保証は、電子回路および製品本来のケースに限定されるもので、誤用、不適当な使用、不注意などによる損傷は特に除外されます。この保証は、明示または黙示に関わらずその他全ての保証の代わりとなるもので、その性質に関わらずその他のいかなる表現や主張も、Zircon を拘束したり義務づけることはないものとします。本製品に適用できる黙示の保証がある場合は全て、購入から一年間以内に限定されるものとします。</p> <p>本製品の所有、使用、または誤作動によって生じる特別損害賠償、付随的損倍賠償、あるいは間接的損害賠償については、いかなる場合にも Zircon が責任を負うことはないものとします。</p>	<p><b>カスタマーサービス</b></p> <p>製品に関する詳しい情報やお問い合わせは、お手数ですが最寄の代理店、または下記の方法で直接 Zircon Corporation 本社までご連絡下さい。</p> <p>ホームページ: www.zircon.com Eメール: info@zircon.com TEL: +1 (408) 963-4550 FAX: +1 (408) 963-4597</p>	
 ZirconCorporation  ZirconTV  ZirconTools   ZirconToolPro  ZirconTools	<p>© 2017 Zircon Corporation • P/N 68810 • Rev A 01/17</p>	